

事業番号	15 08 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	教職員の福利厚生支援事業費	部局	教育委員会事務局
		課・室	保健厚生課
		実施期間	S25 ~
		E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標			
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援		


1 事業の概要

事業の現状 ・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	・教職員の精神系疾患による長期療養休暇・休職者数は、平成29年度は138人と、平成20年度以降では最小となっている。 ・教職員住宅保有状況（平成30年5月1日現在）・・・232棟、1,402戸（入居率69.5%）
	【目指す姿】
	・教職員が意欲を持って教育活動に専念できるよう、健康管理、健康づくりを支援する。特にメンタルヘルス不調の未然防止と休業後の円滑な職場復帰を図る。 ・教職員の生活安定のため、教職員住宅を配置しているが、ファシリティマネジメントの観点から、より効果的な管理に努めその充実を図る。
	【実施内容】
	ライフステージ別メンタルヘルス研修会、管理監督者メンタルヘルス研修会、教職員住宅の修繕等工事 など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
								1	ライフステージ別メンタルヘルス研修会参加者のアンケート満足度	95.5%
2	管理監督者メンタルヘルス研修会参加者のアンケート満足度	98.7%	99.3% ↗	99.6% ↗	前年度実績を上回る		達成	合計(A)	217,092	206,951
3	教職員住宅入居率	67.1%	69.5% ↗	71.7% ↗	前年度実績を上回る		達成	うち一般財源	15,974	19,611
								決算額(B)	204,897	195,488
							職員数(人)	2.0	2.0	

成果指標設定理由	1 教職員のメンタルヘルス対策を推進するためには、それに対する関心・理解が重要であることから、アンケートで「研修会が有意義で参考になった」という参加者の割合を目標値として設定。 2 人事異動による入居必要者数の変動により影響を受けるが、有効活用の状況を入居率により設定。
----------	--

達成状況の分析	1 メンタルヘルス研修会については、前年度の満足度が非常に高かったため、講師と相談のうえ同様に実施した結果、一部目標を下回ったが9割以上の者から満足を得た。 2 教職員住宅の入居率については、「職員宿舍管理戸数適正化実行計画」を着実に実行することにより、目標を達成した。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓教職員復職訓練・健康審査・研修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・精神神経系疾患による休職者等に対する円滑な職場復帰への支援 ・精神神経系疾患の予防及び管理監督者の支援のためメンタルヘルス研修会及びメンタルヘルス相談事業等を実施 ✓教職員住宅維持管理修繕事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「職員宿舍管理戸数適正化実行計画」に基づき、今後維持していく教職員住宅の長寿命化を図るため効果的な修繕や維持管理を実施 	 <p>屋根塗装改修工事</p>
------	---	---

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育を充実させていくためには、教職員の心の健康の保持増進が必要不可欠である。 ・ファシリティマネジメントの観点から、教職員住宅のより効果的な修繕及び維持管理を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス不調の未然防止と休職者等のより円滑な職場復帰を図る。 ・「職員宿舍管理戸数適正化実行計画」に基づく老朽化住宅の計画的な廃止及び維持していく住宅の効率的な長寿命化を図る。(中長期修繕計画の策定) ・教職員住宅の有効活用のため、更なる相互利用を図る。

事業番号 15 08 03 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	教職員の福利厚生支援事業費	部局	教育委員会	課・室	保健厚生課
-----	---------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	教職員復職訓練・健康審査・研修事業費	613 千円	438 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	教職員健康審査会 集団リハビリテーション	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・集団リハビリテーションの実施(1クール8回開催、年間2クール実施) ・教職員健康審査会の開催(年4回開催) ※復職時の病状審査及び職務能力の判定
2	メンタルヘルス研修会 管理監督者メンタルヘルス相談事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージ別メンタルヘルス研修会の実施(年8回開催) ※経験年数3年目：4回、経験年数15・25年目：6回(合同開催あり) ・管理監督者メンタルヘルス研修会の開催(年3回実施) ・精神科医による管理監督者メンタルヘルス個別相談の実施(年5回開催)

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	教職員住宅維持管理修繕費	204,284 千円	195,050 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	修繕費等工事費等	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員住宅に係る小規模修繕及び修繕工事を計画的に実施 ・教職員住宅に係る消防設備等の法定点検を実施
2	委託経費	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員住宅の管理を長野県住宅供給公社に委託 ※RC構造の一部1,023戸分の計画修繕・保守点検業務等 ・教職員独身寮5寮の管理を賄い人に委託